

パッション・インタビュー
Passion

今回は、留萌高校演劇部
はちろりょうすけ
前部長 鉢呂良介さん
にお話を伺いました。



みなさん、次回公演をお楽しみに！

Show must go on

一度幕が上がったら、何があっても幕は下ろさない



留萌高校演劇部について紹介してください。

演劇部は、古くに創部した歴史のある部活と聞いています。かつては全道大会の常連でしたが、数年前には部員が一名の廃部の危機に立たされたこともありましたが現在は、顧問の藤井先生の指導のもと、3年生1人(11月に引退)、2年生8人で活動しています。部員はそれぞれ個性的なメンバーが集まっています、それが自分たちの特徴であり、強みだと思っています。

どのような練習を行っていますか。

練習は主に平日で、発表が近づくと土日も行います。普段は発声練習や筋力トレーニング、ストレッチなどのほか、リアクション(例えば、大きな音に驚いたり、嫌がったりする)の練習や同じ台本を色々な表現の一つ(例えば喜怒哀楽であったり、逆に感情を表さなかったり)を使って、相手と会話するように最初から最後まで読む練習なども行っています。

演劇は、まず恥ずかしさを無くし、大きな声を出すことが必要です。私も小学校の頃から学芸会などの舞台上立つことが好きで、自分では大きな声を出せると思って元留萌で開催することもできました。今後は、毎年12月に行っている老人保健施設でのボランティア公演を予定しています。

創作劇「JACK」と演劇の魅力について教えてください。

「JACK」は、留萌のFM局もえるを舞台に、生放送中に起こる電波ジャック騒動を通じて、田舎コンプレックスやふるさとへの思いなど、若者の心に渦巻く葛藤を笑いや感動を織り交ぜながら描いた藤井先生の創作劇です。各部員の個性がいかにされた配役となっていて、支部大会、自主公演、全道大会と、これまで3回演じ、回を重ねるごとに、みんなで少しずつ改良を重ねてきています。

この「JACK」に限らず、私たち演劇部は、いかに観客に楽しんでもらえるかを大切にしています。もちろん大会の成績も励みになります、観客の方々が、狙いどおりに笑ってくれたり、大きな拍手を送ってくれたりしたときの充実感や達成感が演劇の大きな魅力と感じています。

鉢呂さんから、後輩と読者にメッセージをお願いします。



PROFILE

はちろりょうすけ
鉢呂良介さん

留萌高校演劇部
前部長(11月に引退のため)
問合せ 留萌高校
TEL 0164・42・0730

いましたが、実際に演劇部に入部してみると先輩たちの声は自分よりもはるかに大きく、練習も想像以上に濃い内容であったため、正直驚いたことを覚えています。現部員も練習は、みんなで真面目に楽しく取り組んでおり、発声や台詞の覚えなども段々とレベルアップしていると思います。やっぱり普段からの地道な練習が大切だと思います。

発表の機会はどのようなものがありますか。

例年、新入生に対する部活紹介での寸劇や新入生歓迎公演を4月に行っています。これらの発表を見て演劇部に入部する新入生もいますので、わが部にとっては部員勧誘につながる大切な発表の場でもあります。また、7月の文化祭でも毎年公演を行っています。

高文連全道演劇発表大会への出場も一つの目標です。今年は、10月に旭川市で開催された上川支部大会に出場し、創作劇「JACK」で優秀賞を受賞しました。その結果、11月芦別市で開催された全道大会にも出場(上位2校)し、多くの観客の前で発表することができました。このほか、10月30日には、現メンバーでは初めての自主公演を地

心に、とにかく毎日の練習を怠らずに続けること、本番前の円陣で気合を入れることを忘れずに頑張ってください。

また、留萌に進学予定の中学生のみならず、演劇に興味のある方は、ぜひ気軽に演劇部を覗いてみてください。新しい自分を発見できると思います。最後に、今回の自主公演に足を運んでくださった皆様ありがとうございました。これからも留萌演劇部の公演が開催されると思いますので、みなさんぜひ一度ご覧ください。お待ちしております。

留萌の元気発見! 留萌ひと倶楽部



伊藤 広子さん
いとうひろこ

ご主人の転勤で昨年の4月から留萌市民になった伊藤さん。大好きな花を使うフラワーアレンジメントを通じてお友達もたくさんできたそうです。「私にとって花は、人に喜んでほしいという思いを表現する大切なもの。いつか同じ趣味をもつ姉と一緒に教室や小さなお店ができればいいな」と素敵な笑顔で話してくれました。

大好きな花で、人の役に立つことをしたいなあ。自分の結婚式には間に合わなかったけれど(残念!)花嫁にブーケを作ってもらってあげたくてフラワーアレンジメントを習い始めたんです。ペーパー試験と実技試験、段階を踏み年数を重ねるうちに、奥の深さと楽しさにはまっていきました。嬉しい時も、ちょっと悲しい時も花々は私の心に豊かに語りかけ、暮らして潤いを与え、いつも優しく微笑んでくれました。優しさや厳しさを与えてくれる花々に引かれる自分がいて、ふと気付くとあつと言つ間に、20年(笑)

転勤族の夫と共に道内各地を回りましたが、いつも地域の人のふれあいを楽しみ、大切にしてきました。留萌に来るまでは自宅で教室を開くほか、幼稚園で母親向けの講習会、デイサービスを利用するお年寄りのリハビリ教室、花嫁のブーケや新築祝いのオ



フラワーアレンジ講座の様子

ブジエの作成、ひな祭りの親子体験教室、そして、響(きこ)の方々と習い立ての手話を交えた講習会を行うなど、たくさんの方との出会いがありました。今でもその友人達との交流があり、大変嬉しく思っています。

留萌に来てまだ2年目ですが、いくつかのサークルにも入っていたり、楽しく毎日過ごしています。特に今年は、中央公民館主催講座の講師や喫茶ビューネでの展示、エフエムもえるへの生出演、留萌アートマーケット出展などなど、今までにないたくさんの初体験をこの留萌で経験させてもらっている私ですが、みなさんに温かく受け入れてもらい、とても感謝・感謝しています。

現在は、中央公民館を会場に今流行するプリザーブドフラワー使用したアレンジのほか、生花、アーティフィシャルフラワー(芸術的な造花)などを使った内容の年間計画を立て、1カ月に1回の教室を一期一会の様な思いで開催しています。参加者のみなさんから教わる事も多く、私自身大変勉強になります。初心と感謝の気持ちを忘れず、技術の向上はもちろん、花の名前を勉強し、花との会話をより深めていく事も目指しています。花には心の安らぎを与え、気持ちを優しくする不思議な力があると思いますので、気分転換として一時でも花に囲まれた豊かな時間を一緒に過ごしてみませんか?